

若者未来会議の設置
16万円

総合戦略策定に若者の意見を取り入れる

国も県も市町村も、その未来は若者に託される。若者を大切にしない社会に未来はない。
笠原 武

放課後子供教室
940万円

大河小・小川小に続き、みどりが丘小学校に開設

多くの方の協力によって、放課後の子供たちの活動の場が拡大。安全安心だけでなく、新しい出会いや新しい活動で成長を見守る。
山口勝士

成年後見申立等支援
64万円

家族がなくて申し立て等により町長支援する

認知症高齢者等がますます増加し、後見人の需要も一層高まっていくと見込まれる。後見の需要増に対応した予算の増額を。
井口亮一

小川町版ネウボラ事業
651万円

妊産婦や乳幼児等の課題や支援ニーズに的確に対応する

支援プランを作成することにより、妊娠前から出産・子育て期の切れ目のない支援体制が整った。安心して子育てができる。
高橋さゆり

コミュニティ・スクール
22万円

保護者や地域住民が権限と責任を持つ学校運営に参画する

学校が抱える諸問題点にしっかり向き合えたという意識調査が報告されている。地域力を生かし、着実な効果を生み出している。
笠原規弘

デマンドタクシー補助金
2100万円

自宅と乗降ポイントを利用した交通手段

現状、成功している事業と言えるが、一層の充実を願う。委託先との意見交換の場を多くつくっていただきたい。
松葉幸雄

住の魅力PR事業
30万円

移住促進のための町内体験型ツアー

和紙すき体験等、泊を伴うツアーで小川町の魅力を堪能してもらい、交流人口以上、定住未満の関係人口増に繋げる取り組みを評価。
田中照子

ノンステップバス導入
300万円

小川町駅から小川パークヒル路線に3台のバス導入支援

さらなる支援で、ほかの路線にもノンステップバスの導入拡大を。
金子美登

平成31年度
当初予算

可決

一般会計

88億 4400万円

(前年度比0.7%減)

※金額は万円未満切捨

平成31年度の一般会計予算は、

- ①地域の活性化 (8658万円)
- ②子ども子育て環境の充実 (1億1152万円)
- ③安全・安心のまちづくり (2億4816万円)

を重点分野として、さまざまな事業が予算化されました。

期待を寄せる新しい施策や、課題を抱えたままの事業もありました。それらすべてを皆さんにお伝えしたいのは山々ですが、今回は趣向を変えて、全議員に注目した事業を紹介してもらいます。あわせて、議員ならではの視点についても示してみました。ぜひ、ご覧ください。

(重複を避けるため、1議員1つの掲載とさせていただきます)

学校再編等審議会委員報酬
52万円

審議会設置条例に基づき、学校再編等に関する諮問に対する答申を出す

4年前から訴え続けてきたことが、ようやく一歩進む。みんなが本気で取り組めば、地域の宝である子供たちのためになるはずである。
島崎隆夫

土砂災害ハザードマップ作成
330万円

20ブロックに分けて詳細版を電子データで作成

当町で起こり得る災害の中で、最も現実的とも言える土砂災害。「進化したマップ」を、私たちは生かさなくてはならない。
宮澤幹雄

鶴巻公園遊具等整備
502万円

幼児から高齢者まで交流できる遊具や健康遊具を設置

子育て支援の拠点、多世代交流の場としてココットを中心に、隣接エリアへもその考えを広げた。点から面へ新政策の展開が楽しみ。
戸口 勝

介護保険事業計画策定
345万円

第8期介護保険事業計画を策定するため委託料

町の高齢化率は36.5%超、ますます保険料の個人負担は増加の一途である。いかに予防事業により抑制できるかが今後の課題。
根岸成美

地域学(おがわ学)構築
143万円

地域理解・課題解決能力を養うおがわ学を構築

地域の歴史、小川町の歴史、課題等を勉強し理解し郷土愛を育て、この町、自分の住んでいる地域を好きになってもらう。
大戸久一

仙元山周辺花のまちづくり
83万円

見晴らしの丘公園内にヤマザクラ等を植樹

人々の心に伝わる美しい事業。清流槻川の水面に映る仙元山の花木を連想すると、「小京都おがわ」の唄が聞こえてくるようです。
松本修三

ため池の耐震点検
2030万円

災害時の安全確保のため耐震点検を実施

平成30年7月豪雨による湖沼の決壊を忘れてはならない。点検事業は、町内すべての「ため池」も視野に入れるべきだ。
柴崎 勝

注目した事業名
事業予算

事業の概要………

議員目線でコメント………

議員名